

ぶらり界限 まち紹介 旭町界限編

宝塚警察署や阪神北県民局があるこのエリアには、パンのおいしいレストランやランチが評判のイタリアンがあります。また、この春にピッタリのアイテムが揃うゴルフショップもご紹介。新しい出会いがあるこの季節に、お勧めのお店をComiPa! スタッフが見つけてきました。



1 【ベーカリーレストラン】
サンマルク 宝塚店

サンマルクは、焼き立てパンの食べ放題と、まるでホテルのようなサービスが魅力。ディナーではピアノの生演奏を聞きながら、優雅なひと時が楽しめます。今回は特別にランチタイム限定「おしゃべりランチコース」が1,290円〜と、ディナーのご注文5%OFFがComiPa!チケット提示でご注文できます。

宝塚市旭町2-5-4 ☎0797-85-7309
午前9時〜午後10時 年中無休 P有

2枚あり♪
COMIPA! チケットあり

3 【イタリアン】
un, Pas (アンパス)

ランチはドリンクも付くパスタセットやランチセットが1,000円、ボルチーニ茸のクリームソースを使ったニョッキのセットが1,800円とリーズナブルでおいしいと評判のお店。ディナーでは季節の食材を取り入れたアラカルトも楽しめます。キッチン奥のスペースは居心地がよく、ゆっくり食事がしたい方にお勧めです。

宝塚市旭町2-3-3 ☎0797-85-3837
午前11時30分〜午後2時30分 (L.O午後2時)
午後5時30分〜9時30分 (L.O午後9時) 月曜休 P有

COMIPA! チケットあり

2 【ゴルフ】
ゴルフギアサージ宝塚店

ゴルフシーズンの到来です。新しいアイテムをゴルフギアサージで見つけませんか。ゴルフクラブからウェアまで、有名ブランドのアイテムがたくさん揃っています。

【ComiPa!チケット持参で】
グリップ交換工賃400円→無料 2枚あり♪
※グリップ購入の方限定
新作ウェア 2枚購入で 15%off
3枚購入で 20%off COMIPA! チケットあり

宝塚市旭町2-4 ☎0797-81-7755
午前10時〜午後7時30分 年中無休(短縮営業日有) P有

クルーズ通信 2016 Spring

■有限会社クルーズ
☎0797-74-4719
午前10時〜午後5時 土日祝休み
info@cruise22.com
http://www.cruise22.com

出会いと別れの季節、クルーズ社内もスタッフの入社、退職、復帰があります。

クルーズのFacebookではスタッフの投稿を随時更新しています。ぜひ一度アクセスいただき、「いいね!」をクリックしてください! (←HPからもご覧いただけます)

次号のComiPa! Vol.47は、7月1日発行予定

ComiPa! 突撃レポート ※人の心や体の病気の治療などを目的として、適切に犬を介在させる補助療法

宝塚すみれ栄光園・ケアハウス宝塚のドッグセラピー※

セラピー犬が高齢者を元気にしてくれます

高齢者の複合施設 宝塚せいいの里内にある、宝塚すみれ栄光園・ケアハウス宝塚の施設では月に1回、ドッグセラピーのイベントを行っています。犬のしつけ教室で知り合ったメンバーが集い、様々な施設で活動をしているボランティア団体「パートナーズドッグクラブ」の皆さんが、10匹以上の小型犬から大型犬までのセラピー犬と一緒に訪問します。わんちゃんたちは上機嫌で愛嬌いっぱい、入居している方々からは自然と笑顔が溢れ、会話が弾みます。セラピー犬たちの持つ力ってすごい! そう感じられる貴重なひと時でした。

宝塚せいいの里は、介護付有料老人ホーム「結いホーム宝塚」、特別養護老人ホーム「宝塚すみれ栄光園」、ケアハウス「ケアハウス宝塚」からなる高齢者複合施設の総称です。

Made in Takarazukaを訪ねて

犬がいるからみんな優しい気持ちになれる
介助犬シンシアと木村佳友氏

宝塚市では「シンシアのまち宝塚」を合言葉に段差解消工事やノンステップバスの普及など「すべてのひとにやさしいまちづくり」を目指しています。2015年そのやさしさのシンボルとして介助犬シンシアの像がJR宝塚駅に建てられ、通行する人の心を和ませます。今回はシンシア、エルモ、デ이지と3代にわたる介助犬の使用ユーザーで補助犬の普及啓発に取り組んでいる木村さんを訪ねました。

「身体障害者補助犬」とは、「盲導犬」「聴導犬」「介助犬」の3種のこと

「介助犬」とは、手足の不自由な方の手助けをするために特別な訓練を受けた犬のことで、シンシアは1996年に日本で3番目の介助犬として認定され、木村さんとの生活が始まりました。当時介助犬の認知度は低く、盲導犬でさえも、レストランや病院に同伴しても良いという法律はありませんでした。介助犬は行動や健康がきちんと管理されていて、安心安全だとはなかなか理解してもらえず、電車に乗るもの大変な中での普及啓発活動でした。

「シンシア」のネーミングは木村さんがファンだった南沙織さんの愛称です

中川宝塚市長が衆議院議員だった1998年、「一度国会においでよ」とのお誘いから、翌年シンシアと一緒に衆議院予算委員会を傍聴し、衆議院議長とも面会し、活動が広がっていきます。そして2002年、シンシアとともに身体障害者補助犬法成立の瞬間に立ち会えたことが最高に嬉しかったと木村さんは語ります。また2代目エルモが麻生元首相との対面時、顔をベロツとなめドキドキさせたエピソードも微笑ましく、寒い冬の日に車庫で車椅子から落ちてどうしようもなかった木村さんに、電話機を持ってきて助けてくれたシンシアの話も感動的でした。

勇気を出して「何かお手伝いできることはありませんか」と言ってほしい

宝塚市では毎年シンポジウムの開催や、ステッカーの配布、ハーネス(胴輪)の助成など、積極的に取り組んでいます。補助犬法で、公共施設、公共交通機関はもちろん、スーパー・デパート・ホテル・レストランなどは障害者の補助犬同伴を拒んではならないと定められましたが、まだまだ知られていないのが現状で、拒否されることもあるようです。またお仕事中の補助犬たちには勝手に触らないようにしましょう。私たちに出来ることは何ですか?と尋ねると、まずは補助犬に関心をもってもらい、障害者のことを知ってもらうことが一番だとおっしゃっていました。

宝塚市の補助犬啓発マーク
厚生労働省の補助犬啓発マーク